

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2021年 2月 6日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」東加古川駅前事業所

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			市の規定に従って定めている。
	②	職員の配置数は適切であるか		○		最低人員には達している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		事業所は2階にあり階段を利用することになるが、手すりが設置してある。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎週週末に評価と目標設定を行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			頂いた評価表を元に、今後も安心して通所いただけるように話し合いを設けている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			毎年HPで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			全職員に対しての定例研修や事例検討会の実施。新人や管理者等の専門的な研修も行っている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			担当支援員と児発管とのアセスメント用いて事業所全体で会議を行い、支援員全体の意見を取り入れる事で客観的に分析することが出来ている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			SDQプログラムや当社規定のアセスメントシートを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎朝朝礼で行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			教材を共有し、チームで行う事で固定化しないよう努めているが、積み重ねが必要と感じる場合は、一定期間の固定はある。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期の休暇は、季節に応じた特別感が味わえるようなプログラムの設定を行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個々に応じて必要な計画の作成を行っている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝の朝礼で行っている。

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		終礼でその日の振り返りと次の日の確認を行い、支援の振り返りは、翌朝の朝礼で行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		次の朝には完成しているように努め、チーム全体で共有し、朝礼で支援の検討している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		少なくとも6か月に1回は行き、それ以外での判断は毎日の振り返りの中で判断している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○		利用者本人への支援を中心に、適宜保護者からの相談に応じ、学校や他事業所との連携を取っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	○		担当支援員と児発管で参加。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		その都度行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	医療ケアの必要な子どもの受け入れはない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		直接の情報共有や相談員を通しての情報共有は出来ている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		過去に他の事業所へ移行された方はいないが、今後あれば情報提供を行う。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		必要に応じて連携を取り、今後も研修に参加する。財団法人発達研究所との連携や研修は定期的に行っている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	新型コロナウイルス感染拡大防止もあり、計画を立てる事が出来ていない。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			実施あれば参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか			毎回担当支援員から保護者の方へ振り返りを行い、直接できない場合は、連絡帳、メール、電話等で行っている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			必要に応じて行っている。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		行っている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		必要に応じておこなっている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		新型コロナウイルス感染拡大防止もあり、計画を立てる事が出来ていない。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		その都度対応している。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		LINE やブログ等を活用し、活動内容等を発信している。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報を含む書類等の管理場所やその方法を徹底している。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		個々に応じて対応している。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	新型コロナウイルス感染拡大防止もあり、計画を立てる事が出来ていない。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		年に最低 1 回の研修と、その実施の報告をブログや掲示・LINE 等でお知らせしている。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		月に 1 回の訓練と、年に最低 2 回は利用者を含めた訓練を行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか			年に最低 1 回の研修を行っている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		組織的に決定し、身体拘束を行う必要がある場合について説明を行い、同意を得ている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		保護者の方から詳しく説明を受け、対応についての研修を行い、職員間での対応の周知を図っている。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		些細な事でも記載し、共有している。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2021年 2月 6日

事業所名：子どもサポート教室「きらり」東加古川駅前事業所 保護者等数（児童数：42 回収数：42 割合：100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	32	7	0	・他学年の子の声で、集中して取り組めない時がある。個室などを利用し、本児と相談しながらその都度対応しています。 ・小学校になってから一度も授業風景を見ていないので。見学等ご希望に合わせて対応していきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	38	1	0	・安定して通えています。 個々の持つ専門性を活かしながら、今後もチームで取り組んでいきたいと思います。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	23	16	0	・2階にあるので。 ・事業所や建物の構造的に致し方ないところがありますが、それを理解したうえで利用しているので大丈夫です。 ・よくわからない。 ・事業所に入室するまでの外階段がバリアになっている。手すりの設置は出来ていますが、ベビーカー等の移動でお手伝いが必要な時はその都度対応していきます。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ^I が作成されているか	38	1	0	・無理なく継続性のある支援だと思います。 今後もニーズに合った計画を作成し、提供していきます。
	⑤	活動プログラム ^{II} が固定化しないよう工夫されているか	36	3	0	・好きな絵を題材にいただいたり、多様性のある活動と感じています。 今後も楽しく活動できるように、工夫していきます。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	13	18	9	・学校で障害のない子と接しているので必要を感じない。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	38	1	0	・十分な説明を受けています。 今後もご理解いただき、安心して通っていただけるように努めます。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	36	3	0	・心理的な細かな変化など教えてもらっています。 今後もご家族も含め、一緒に頑張っていけるように努めます。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	36	3	0	・進路など相談させていただいています。 今後も少しでも不安が軽減していただけるように努めます。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	14	14	11	
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	33	6	0	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	37	2	0	・毎回の授業の様子を教えてもらい、子どもとの話題としています。

	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	33	4	2	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	38	1	0	
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	33	6	0	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	33	6	0	
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	36	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも楽しかったと帰ってきます。 ・子供が自然に話す雰囲気を作ってもらえ、話すことを楽しみに通っています。 今後子どもたちの笑顔が守れるように努めます。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	37	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな事を認めてもらえるような話題や話すことでの ・ストレスの発散が出来るよう満足しています。 今後も安心して通っていただけるように努めます。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。